

新郷 市長と地域との懇談会

日 時：令和 6 年 11 月 10 日（日）
午後 6 時から午後 7 時 30 分まで
場 所：新郷地域交流センター
参加者：21 名

【内 容】

市からの報告 テーマ：ごみの減量について

- プラスチック・剪定枝・ミックスペーパーなどの分別が着実に進み、燃えるゴミが減少し、晴丘センターの負荷が減少した。
- 剪定枝の分別が進み、市民の皆さんにとって出しやすい方法や時期等についても再検討する予定。
- 燃えるごみの量が減ったが、ごみ全体の総量では前年から 3% 程の減少と大きく減っていないため、家庭から出るごみの量の削減に取り組んでいきたい。
- 家庭から出るごみの中で一番多い調理くず、食べ残し、手付かずにそのまま捨ててしまう食料品などのフードロスの削減に取り組み、ごみの総量の削減に協力いただきたい。

市からの報告 テーマ：市制 100 周年に向けて

- 今年度は市制 95 周年であり、改めて瀬戸の歴史と伝統の偉大さを感じたところ。
- 今年度は来年開催される国際芸術祭あいちのプレイベントも開催される。
- 来年は、国際芸術祭あいちや愛知万博 20 周年記念事業が開催され、さらなる賑わいが期待される。市と地域が共に盛り上がるよう取り組む。
- 瀬戸市制 100 周年を迎えるに当たり、カウントダウンにつながる取り組みを進めていく。

地域の課題：ごみの減量について

- 生ごみのほとんどが水分とすることで、燃やすのにも多量の燃料が必要になるため、もっとたい肥化を進めたほうが良いと思う。
- 瀬戸では中小企業が多く、企業ごみが家庭ごみと混ざって回収されていると思うので、きちんと家庭ごみのみを回収するためにも戸別収集に移行したほうが良いと思う。

- 醤油やソースの容器は水ですすげばきれいになるのでプラスチックごみにしているが、マヨネーズやケチャップ、油などはすすいでもきれいにならないので、可燃ごみとして出している。

地域の課題：その他

(学校・教育関係)

- 菱野団地の学校が統合されたら、学童保育はどうなるのか。両親が共働きの家庭が多い地域なので、ぜひ子どもたちの居場所の確保に努めてほしい。
- 小学校を統合する中で、部活動の問題などいろいろな課題が出ているため、3台の関係者が一同に会する説明会や意見交換の場を設けてほしい。
- 人口問題への対策としても、子どもに対する支援が重要になってくるため、市として「子ども中心の市になる」と宣言してはどうか。教育委員会とは別に「教育文化財団」などを設立してはどうか。この地域では日本語教育が重要になってくると思う。
- 統合した際の通学路について、新郷町からは学校が遠くなるため、送迎車が増えると思う。現在も送迎している車をよく見かけるので、そうした車の対応についても検討してほしい。
- みつば小学校への新しい通学路について、階段を作るとのことだが、高さが17mほどある土手にできるので、小さい小学1年生の子の登下校を心配している。
- 新郷連区から新しい小学校に通う子の中で、一部は幡山中学校に行くことになるが、これは「小中一貫教育」という観点から矛盾が生じているのではないか。
- 長年ある学区の問題を整理するには、良いタイミングだと思う。
- 瀬戸市の平均学力は愛知県内でほぼ最下位。行政としてもこの問題に真剣に取り組んでほしい。
- 学校給食において、食材等の入札は非常に閉鎖的で新規の間屋は参入できない状況。行政として、瀬戸市の学校給食に携わる食材はほぼ市内の業者から買うという方針にすることが給食費の値下げにつながるのではないか。
- みつば小学校について、多言語を生かした教育を進めてはどうか。「あの小学校に行きたい」と思われるようなモデル的な学校になるように努めてほしい。
- 数年前から学校選択制がなくなったが、どのような事情であっても学区の学校に通うように統一してほしい。
- 赤重町と東赤重町は同じ町内だが、学校は異なる。町内会で子ども会の活動をしようとする不具合が出るので、選択制に戻したほうが良いのではないか。

- 以前勉強が苦手な子を対象に開催されていた八幡小の「がんばり教室」がコロナ以降なくなってしまった。すべての子どもが最低限の学力を維持できるよう、対策をしてほしい。
- 学校教育のサポート的学習であれば、教員ではなく上の学年の子に教わるなどしてもよいのでは。
- 原山台地域では、もう原山小学校の跡地活用について積極的な議論がなされていると聞いたが、まずは通学路の問題や学校統合の問題を詰めていくのが先だと感じる。

(その他)

- 愛知環状鉄道のバリアフリー化（特にエレベーターの設置）を進めてほしい。
- 瀬戸口駅には自転車置き場がなく、風で倒れたりしている。駅周辺にスペースはあるので、自転車置き場を設置してほしい。
- 近年、町内会や自治会に加入する人が減っている。自治会がなくなったら誰が地域の美化や防犯を維持するのか。自治会活動の必要性を行政も一緒に再度アピールする必要があると思う。
- 新郷連区は避難場所はあるが、避難所はない地域。避難場所は瀬戸西高校のグラウンドだが、備蓄品が整えられないことから避難所として指定できないと聞いた。他の県立高校では避難所に指定されているところがあるため、この地域も何とか対応できるのではないか。